

令和 6 年 6 月 24 日現在

機関番号：32506
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2020～2023
課題番号：20K00736
研究課題名（和文）外国人材と組織の変革を支援する対話型ビジネスコミュニケーション研修モデルの構築

研究課題名（英文）Developing a dialogic business communication training model to support change for foreign personnel and organizations

研究代表者
金 孝卿（HYOKYOUNG, KIM）
麗澤大学・国際学部・教授

研究者番号：30467063
交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、JP17K02851に続く継続研究として、外国人材と日本人関係者の変革を支援する「対話型ビジネスコミュニケーション研修モデル」の構築を目指したものである。ケース学習を基盤に、外国人材や人事総務担当者を対象とした企業横断型のケース学習実践、ケース学習後の継続的な学びを促す実践のあり方を検討した。その結果から、次の点を明らかにした。外国人材が自身の職場での実践を対象化し問題解決のプロセスを意識化できる。多様な背景の参加者が対話することで自らの組織のダイバーシティのあり方について意識化できる。「教える・教わる」関係性ではない、参加者間の協働に基づく学びの場を創ることができる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本語教育から提案した協働学習の「ケース学習」を利用した外国人材向けの研修において、対話型組織開発の観点から、個人と組織の変革のプロセスに焦点を当てて考察している。本研究の成果から、外国人雇用や定着支援を行う企業に対して、企業内での対話的な社員研修のための実践的な枠組みを提供できる。また、研修モデルの構築過程に外国人社員や企業関係者が当事者として参加することは、日本企業のダイバーシティ・マネジメントの促進に寄与できる。

研究成果の概要（英文）：This study is a continuation of JP17K02851 and aims to develop a "dialogic business communication training model" that supports change for foreign and Japanese personnel involved in the workplace. Based on the case-based learning approach, we examined cross-company case-based learning practices for foreign personnel, human resources and general affairs personnel, and practices that encourage continuous learning after case-based learning. The results clarified the following: 1. Foreign personnel currently working in the workplace can be made aware of the problem-solving process by targeting their workplace practices. 2. Participants from diverse backgrounds can be made aware of the diversity of their organizations. 3. It is possible to create a learning environment based on collaboration between participants, rather than a teaching-learning relationship.

研究分野：日本語教育学

キーワード：ケース学習 外国人社員 ビジネスコミュニケーション 対話型ビジネスコミュニケーション研修 協働的な職場環境 研修開発

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

筆者らはこれまでビジネスコミュニケーション場面でのコンフリクトを題材にケース学習の教材を作成し、人材育成を目指す社員研修に利用してきた。これまでの研究から、背景の異なる参加者間での越境的な対話によって、仕事上のコンフリクトの捉え方の違いや問題解決プロセスにおける価値観や文化的背景の違い、さらには職場の環境のあり方の課題が意識化されることが示された。一方、外国人社員がケース学習の研修で学んだことを職場でどのように実践しているかという点について、外国人材の職場での問題解決における行動や意識の変容には、人事・総務担当を含む日本人社員との組織内での対話が重要であることが浮き彫りとなった。

2. 研究の目的

本研究では、ケース学習を利用して、外国人材と人事・総務当事者が当事者として社内の問題解決に主体的・協働的に関わる対話型ビジネスコミュニケーション研修を実施し、個人や組織における変革のプロセスに焦点を当て、参加者の意識と行動の変容、および発達的变化のプロセスを明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 予備調査・文献収集

関連文献を精査し、対話型組織開発に関する理論と分析の枠組みを整備するとともに、研究の第一段階として、外国人材の採用実績のある企業の人材・総務担当者にインタビュー調査を行い、人材育成の環境と外国人材の評価に関する課題を明らかにした。

(2) 研修モデルの策定・研修の実施

予備調査を踏まえ、研修の目的に応じて、外国人材と人事・総務担当などが当事者として社内的问题解決に取り組むための研修モデルを策定した。研修は職場でのコンフリクトを題材にした「ケース学習の実践」と、その後の継続的な学習を助ける「探求型問いによる実践」を組み合わせた対話型研修モデルとした。

(3) 研修への評価および実践的な枠組みの検討

異なる業種・職種の外国人材・人事総務担当者が参加するケース学習の実践において、まず、参加者へのインタビューと内省記録を分析し、職場での問題解決と内省のプロセスを明らかにした。そこから、参加者間の討論活動における発話を記録し、問題解決のプロセス、相互行為の質という観点から対話におけるダイナミクスを分析した。

4. 研究成果

(1) 対話型ビジネスコミュニケーション研修モデルの検討

本研究では、JP17K02851 に続く継続研究として、まず、外国人材等を対象とするケース学習実践が外国人材の雇用と定着に関する課題の解決にどのように貢献しているかについて、社外での対話の実践、外国人材の学びの連続性という観点からこれまでのケース学習実践の意義を示した（金 2022）。

次に、日本企業で働く外国人材および人事・総務担当者を対象とした企業横断型ケース学習の実践を行い、討論における参加者間のやり取りの内容に焦点を当て、どのような観点から問題をとらえ、問題解決の方策を見いだすかという観点から、ケース学習での学びの一端を明らかにし、実践の意義と課題を考察した（金 2022）。

(2) 日本人と外国人のためのケース学習教材の作成

これまでの調査及び研修モデルの検討を参考に、新たにケース学習実践のための教材を作成した（金他 2020）。日本人社員と外国人社員が対話を通じて異文化理解を深めながら、ビジネスコミュニケーションを学べるものである。ケース教材の内容としては、業務中のコンフリクトと、社内での戸惑いやルール・文化の違いに関するテーマで構成した。さらに、ケース学習実践の後に継続的に学習を行えるよう、ケース学習のための設問や多様な応用タスクを設定した。

その他、経済産業省（2021年4月26日）が公開した「日本人社員も外国籍社員も 職場でのミスコミュニケーションを考える」動画教材及び学びの手引き、および、「日本人社員も外国籍社員も職場でのミスコミュニケーションを考える」動画教材（metichannel YouTube）においては、当該研究成果であるケース学習の教材と考え方が採用された。

(3) 研究成果の発信と波及

本研究の成果については、①国内外の日本語教育現場への発信、②教師等の指導者養成及び実践の共有、③キャリア教育への応用、この3点に集約することができる。

①については、まず、これまでの研究成果を海外の国際学会・研究会主催（香港、フィリピン、韓国、ヨーロッパなど）の研修会や講演会で発信した。特に、ヨーロッパ教師会の SIG として「欧州ケース学習研究会」が立ち上げられ、ケース学習の実践研究のネットワークが広がったことは特筆すべきである。ヨーロッパ日本語教育シンポジウムでパネルディスカッションを行うことができた。さらにケースライティング研修を2回行い、ケース集の作成に協力しその成果の公開に貢献した。

次に、ビジネス日本語研究会、看護と介護の日本語教育研究会、協働実践研究会の連携により、「アジア人材還流学会国際セミナー」を、ベトナムのハノイ（2022）、フエ（2023）にて開催した。それぞれにおいて、「日本とベトナムにおける外国人材の雇用と定着を考えるための連携・協力の体制づくり」、「日本語教育を巡る日越ステイクホルダーの協働－異文化理解を通して新たな理念の創造を目指す「協働」による議論の場の実現－」というテーマで、日本語人材の育成において、変化する社会を見据えた教育実践への変革の必要性と、教育と多様な諸機関との協力体制の重要性について、現地で情報共有し、関係構築の場づくりを行った。

②については、日本語教育人材の育成を目的とした指導者 Can-do statements の記述とその成果を踏まえた研修に対して、参加者アンケート及び内省データの分析を行い、就労者に対する日本語教育（SJ）指導者育成研修モデルの開発を行った。その成果を学会で発表した（品田他 2022）。また、多様な現場における協働実践研究としてこれまでの研究成果をまとめ、『協働が拓く多様な実践』を出版した（協働実践研究会 2022）。

③については、本研究における対話型ビジネスコミュニケーション研修モデルを踏まえ、新たに日本・韓国・マレーシアを結ぶケース学習のワークショップを実施し、キャリア教育のための国際共修の観点から当該実践の可能性を検討した。その実践の成果を国内外の学会等で発表するとともに、留学生のキャリア形成支援におけるケース学習実践の意義について論文としてまとめて発信した（金 2023）。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 金孝卿	4. 巻 34
2. 論文標題 【特集】キャリア形成支援と日本語教育_ケース学習における文化間衝突と問題解決への意識化 -日本語学習者のキャリア形成支援の観点からの一考察-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 早稲田日本語教育学	6. 最初と最後の頁 23-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤彩	4. 巻 単行
2. 論文標題 ビジネス日本語教育における日本語人材の育成 教師研修と学習リソースの面から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 国際シンポジウム紀要「日本語の教育・研究：VUCA時代におけるビジネス日本語人材育成」	6. 最初と最後の頁 20-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 館岡洋子	4. 巻 34
2. 論文標題 【特集】キャリア形成支援と日本語教育_キャリアとしての日本語教師 多様な働き方におけるキャリア自律の必要性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 早稲田日本語教育学	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 金孝卿	4. 巻 34
2. 論文標題 【特集】キャリア形成支援と日本語教育_ケース学習における文化間衝突と問題解決への意識化 -日本語学習者のキャリア形成支援の観点からの一考察-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 早稲田日本語教育学	6. 最初と最後の頁 23-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 近藤彩	4. 巻 単行
2. 論文標題 ビジネス日本語教育における日本語人材の育成 教師研修と学習リソースの面から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 国際シンポジウム紀要「日本語の教育・研究：VUCA時代におけるビジネス日本語人材育成」	6. 最初と最後の頁 20-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 舘岡洋子	4. 巻 34
2. 論文標題 【特集】キャリア形成支援と日本語教育_キャリアとしての日本語教師 多様な働き方におけるキャリア自律の必要性	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 早稲田日本語教育学	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金孝卿	4. 巻 59
2. 論文標題 外国人材向けの企業横断型ケース学習実践の意義と課題 多様な背景の参加者間の対話による学び	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『日本語教育研究』韓国日語教育学会	6. 最初と最後の頁 133-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21808/kjje.59.09	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 神村初美・池田玲子・近藤彩	4. 巻 42
2. 論文標題 ベトナムの日本語教育における協働学習を用いたオンライン長期型教師研修 ハブとしての現地コーディネータの役割	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『日本語研究2022』日本語・日本語教育研究会	6. 最初と最後の頁 91-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 多田苗美・近藤彩	4. 巻 24
2. 論文標題 ケース学習におけるファシリテーション 教師発話に着目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『専門日本語教育研究』 専門日本語教育学会	6. 最初と最後の頁 35-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤彩・桑原和子・NGUYEN THI HUONG TRA/DANG THAI QUYNH CHI・池田玲子	4. 巻 23
2. 論文標題 活動型ビジネス日本語教育への展開と課題 - ベトナム人教師研修の観点から -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 専門日本語教育研究	6. 最初と最後の頁 91-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館岡 洋子, 櫻井 直子, 長瀬 智子, ヘルマンス クララ, 金 孝卿	4. 巻 18
2. 論文標題 「座談会：日本語教師の専門性を考える CEFRを参照して」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『言語文化教育研究』 言語文化教育研究学会	6. 最初と最後の頁 182-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14960/gbkkg.18.182	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 近藤彩	4. 巻 20
2. 論文標題 「企業の求めるビジネスコミュニケーション能力 外国人と働く環境整備に向けて日本語教育ができること」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『日本語学』	6. 最初と最後の頁 42-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計46件（うち招待講演 32件 / うち国際学会 37件）

1. 発表者名 近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 「ケース学習入門研修」
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会 セミナー 2023（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金孝卿・木村かおり・金義泳・古賀万紀子
2. 発表標題 異文化環境で働くことを議論するケース学習ワークショップ -日本・韓国・マレーシアの若者がつながる国際共修実践-
3. 学会等名 韓国日本語教育學會 2023年度 第44回 国際學術大會（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田 真知子・金 孝卿
2. 発表標題 日系企業で働くベトナム人女性就労者のキャリア意識
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学 / アジア人材還流学会（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田玲子
2. 発表標題 協働学習による国際共修の可能性 価値創造、内なる国際化、多様性の観点から
3. 学会等名 韓国日本語教育學會 2023年度 第44回 国際學術大會（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 ビジネス日本語教育における日本語人材の育成 教師研修と学習リソースの面から
3. 学会等名 国際シンポジウム「日本語の教育・研究：VUCA時代におけるビジネス日本語人材育成」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 品田潤子・近藤彩・加藤淳
2. 発表標題 就労者を対象とした日本語学習教材の配信・支援システム（SJ-NET）の構築 就労現場における継続的な学習環境の確立を目指して
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学／アジア人材選流学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 ケース学習と異文化理解
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会セミナー2023（国際交流基金・日本語教師会（AJE）助成）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩・栗原由加・倉本文子・LE THI HONG VAN（レー・ティー・ホン・ヴァン）・HOANG THI LAN NHI（ホアン・ティー・ラン・ニー）・NGUYEN THI HUONG TRA（グエン・ティー・フオン・チャー）・戸崎典子
2. 発表標題 企業とつながる、企業とつくる日本語学習
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学／アジア人材選流学会（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 ケース学習入門研修
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会 セミナー 2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金孝卿・木村かおり・金義泳・古賀万紀子
2. 発表標題 異文化環境で働くことを議論するケース学習ワークショップ -日本・韓国・マレーシアの若者がつながる国際共修実践-
3. 学会等名 韓国日語教育學會 2023年度 第44回 国際學術大會 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田 真知子・金 孝卿
2. 発表標題 日系企業で働くベトナム人女性就労者のキャリア意識
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学 / アジア人材選流学会 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池田玲子
2. 発表標題 協働学習による国際共修の可能性 価値創造、内なる国際化、多様性の観点から
3. 学会等名 韓国日語教育學會 2023年度 第44回 国際學術大會 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 ビジネス日本語教育における日本語人材の育成 教師研修と学習リソースの面から
3. 学会等名 国際シンポジウム「日本語の教育・研究：VUCA時代におけるビジネス日本語人材育成」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 品田潤子・近藤彩・加藤淳
2. 発表標題 就労者を対象とした日本語学習教材の配信・支援システム（SJ-NET）の構築 就労現場における継続的な学習環境の確立を目指して
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学／アジア人材選流学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 ケース学習と異文化理解
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会セミナー2023（国際交流基金・日本語教師会（AJE）助成）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 近藤彩・栗原由加・倉本文子・LE THI HONG VAN（レー・ティー・ホン・ヴァン）・HOANG THI LAN NHI（ホアン・ティー・ラン・ニー）・NGUYEN THI HUONG TRA（グエン・ティー・フオン・チャー）・戸崎典子
2. 発表標題 企業とつながる、企業とつくる日本語学習
3. 学会等名 フエ国際セミナー2023 フエ大学外国語大学／アジア人材選流学会（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 ケース学習の参加者が捉える仕事上のコンフリクトの事例 -外国人および日本人参加者が描くケースの内容に注目して
3. 学会等名 韓国日語日文学会2022年冬季国際学術大会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 品田潤子・倉本文子・近藤彩・金孝卿・住吉尚子・多田苗美・小笠恵美子
2. 発表標題 就労者に対する日本語教育（SJ）指導者育成研修モデルの開発 モニター研修の検証を踏まえて
3. 学会等名 日本語教育学会2022年度春季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 ケース学習入門研修
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会 セミナー 2023（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 協働の理念に基づくケース学習
3. 学会等名 慶尚大学2022年度夏季1級正教師資格研修（慶尚大学教員研修院）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 仕事で必要となる能力の育成：理論・企業・教育の融合
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 ケース学習で学ぶコミュニケーション：問題解決や人間関係構築を目指して
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 キャリア形成につながる日本語教育の実践デザインー協働学習の理念に基づいてー
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 課題達成のプロセスで学ぶコミュニケーション：SWOT分析を例に
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 ケースライティング研修
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 就労のための日本語教育
3. 学会等名 川崎市国際交流協会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 学習者のキャリアプランニングを支援する
3. 学会等名 川崎市国際交流協会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 舘岡洋子・池田玲子・近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 協働学習の実践と方法
3. 学会等名 ベルリン日本語教育セミナー 2021（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Hyogyung KIM
2. 発表標題 Case-Based Learning for Business Japanese Communication-Developing communication skills for workers who need to use Japanese at work-
3. 学会等名 Japan Foundation Manila (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 池田玲子・金孝卿
2. 発表標題 日々の実践研究をもとに実践研究へ
3. 学会等名 シンガポール日本語教師の会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 国内外をつなぐオンライン協働型日本語教師研修-日本・ベトナム・ヨーロッパを例に-
3. 学会等名 韓国日語教育学会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 「世界学生会議」の試み - オンラインによる留学生のキャリア教育・就職支援のあり方を探る -
3. 学会等名 韓国日語教育学会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 外国人受け入れのための環境整備ーコミュニケーションの視点からー
3. 学会等名 産業日本語研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩・池田玲子・金孝卿・Nozomi Yamaguchi・Yasuko Takeuchi・Kyoko KHOSLA・Reiko Suhara
2. 発表標題 企業と大学における民主的文化を育むケース学習の実践
3. 学会等名 第24回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩・池田玲子
2. 発表標題 協働学習による日本語教育のケース学習
3. 学会等名 第24回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 大学と企業におけるケース学習の実践
3. 学会等名 第24回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩・桑原和子・神村初美・池田玲子
2. 発表標題 ベトナム人日本語教師を対象としたオンライン長期型研修のモデル構築ーベトナムでの協働学習の可能性ー
3. 学会等名 日本語教育学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 品田潤子・近藤彩・金孝卿・倉本文子
2. 発表標題 「就労者に対する日本語教育(SJ)における人材育成の課題 指導者Can-do Statementsの記述と活用を通して」
3. 学会等名 日本語教育学会春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 「グローバル人材における教師の意識改革」
3. 学会等名 韓国日本語文学会（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 「キャリア形成につながる日本語教育の実践デザインー協働学習の理念に基づいてー」
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 「新型コロナウイルス感染症流行による留学生への影響とビジネス日本語教育の展望」
3. 学会等名 関西経済連合会グローバル人材育成・活用委員会主催講演会（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 「仕事で必要となる能力の育成：理論・企業・教育の融合」
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 「ケースライティング研修」
3. 学会等名 欧州ケース学習研究会セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤彩
2. 発表標題 「ケース学習で学ぶコミュニケーション：問題解決や人間関係構築を目指して」
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金孝卿
2. 発表標題 「課題達成のプロセスで学ぶコミュニケーション：SWOT分析を例に」
3. 学会等名 香港日本語教育セミナー（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 館岡洋子・池田玲子・近藤彩・金孝卿
2. 発表標題 「協働学習の実践と方法」
3. 学会等名 ベルリン日本語教育セミナー 2021（オンライン）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 フエ大学外国語大学 / アジア人材選流学会	4. 発行年 2024年
2. 出版社 フエ大学出版社	5. 総ページ数 168
3. 書名 日本語教育を巡る日越ステイクホルダーの協働	

1. 著者名 池田玲子, 館岡洋子, 近藤彩, 金孝卿 (編著)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ココ出版	5. 総ページ数 368
3. 書名 協働が拓く多様な実践	

1. 著者名 池田玲子編（館岡洋子・近藤彩・金孝卿ほか著）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 『アジアに広がる日本語教育ピア・ラーニング 協働実践研究のための持続的発展的拠点の構築』	

1. 著者名 近藤彩・品田潤子監修	4. 発行年 2021年
2. 出版社 IEC	5. 総ページ数 207
3. 書名 『働く外国人のためのマンガで学ぶ日本社会』（改訂版）	

1. 著者名 近藤彩監修・出演	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NHK WORLD	5. 総ページ数 48
3. 書名 Easy Japanese for work しごとのにほんご（www3.nhk.or.jp）	

1. 著者名 近藤彩（コンテンツ制作）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NHK WORLD	5. 総ページ数 48
3. 書名 Learning Materials Easy Japanese for work しごとのにほんご（www3.nhk.or.jp）	

1. 著者名 近藤彩他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 経済産業省	5. 総ページ数 49
3. 書名 「職場でのミスコミュニケーションを考える」(49本)(www.youtube.com)	

1. 著者名 近藤彩他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 経済産業省	5. 総ページ数 14
3. 書名 「日本人社員も外国籍社員も 職場でのミスコミュニケーションを考える ~動画教材を使った対話による学びの手引き~」	

1. 著者名 金孝卿・近藤彩・池田玲子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日経HR	5. 総ページ数 144
3. 書名 『“異文化”トラブル解決のヒント! 日本人も外国人も ケース学習で学ぼう ビジネスコミュニケーション』	

1. 著者名 池田玲子編(館岡洋子・近藤彩・金孝卿ほか著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ひつじ書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 『アジアに広がる日本語教育ピア・ラーニング 協働実践研究のための持続的発展的拠点の構築』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	館岡 洋子 (Tateoka Yoko) (10338759)	早稲田大学・国際学院(日本語教育研究科)・教授 (32689)	
研究分担者	池田 玲子 (Ikeda Reiko) (70313393)	昭和女子大学・文学研究科・教授 (15101)	
研究分担者	近藤 彩 (Kondoh Aya) (90377135)	昭和女子大学・文学研究科・教授 (32506)	
研究分担者	小浦方 理恵 (Kourakata Rie) (80760397)	麗澤大学・国際学部・准教授 (32506)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関